科目ナンバリング	U-LAS06 20025 SJ42						
授業科目名<英訳>	公共政策論基礎ゼミナールⅠ Introductory Seminar on Public Policy I			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 佐野 亘		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	月3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

一般に、価値や規範に関する理論的研究と、具体的な社会問題を解決するための政策的研究は、まったく切り離されたものとして捉えられがちである。だが、実際には、深く関係しており、両者をいかにつなぐかを考えることが求められている。本ゼミナールでは、公共政策と価値や規範の関係について論じた論文を読むことを通じて、価値や規範に関する理論的研究について理解を深めるとともに、具体的な社会問題に理論をあてはめることの意義と難しさを理解することを目的とする。

[到達目標]

政治哲学や法哲学で扱われている代表的な規範理論について理解するとともに、そうした理論を具体的な社会問題に応用できるようになること。

[授業計画と内容]

前半は、受講者全員で、毎回、論文をひとつ、または複数読んできて、全員がそれについてコメントを述べ、引き続き受講者同士で議論をおこなう。とりあげる論文は、日本語で書かれたもので、予備知識がほとんどなくても読めるような、導入的・基礎的なものを選ぶ。後半は、各自の報告をおこなってもらう。

第１回　イントロダクション
第２回～第７回　論文講読
第８回～第１３回　各自の報告
第１４回　まとめ、振り返り
第１５回　フィードバック

なお、授業回数はフィードバックを含め全１５回とする。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業への参加状況・参加態度（８０%）、およびレポート（２０%）にもとづき、評価する。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回、指定の文献を読んでくるとともに、授業後も、考えが深められていなかった点について各自で反省を行うことが求められる。

[その他（オフィスアワー等）]